

4. 丹波地域における 現状・課題と政策目標

(1) 概要



【道の駅丹波
おばあちゃんの里】



【丹波の森公苑】



【丹波年輪の里】



【デカンショ祭】



【黒豆の館】



【丹波少年自然の家】

人口・面積等

- 人口 10.6万人(2%)
- 面積 871km² (10%)
- GDP 3,603億円(2%)
- 域内市町数 2市

特産品

マツタケ、クリ、ヤマノイモ、黒大豆、小豆、お茶、アマゴ、イノシシ肉、毛皮製品、丹波立杭焼、釣具等

観光

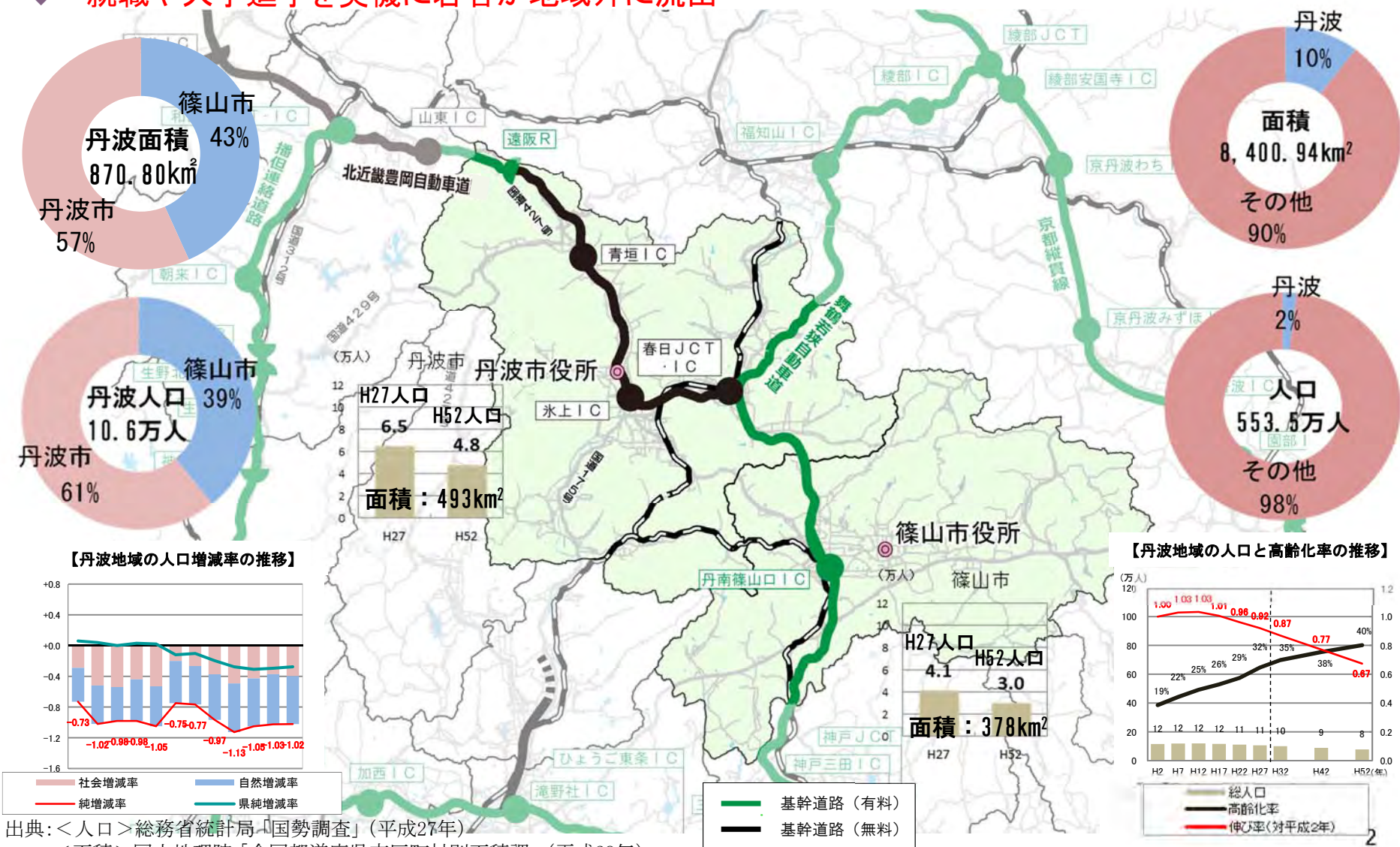
- 観光入込客数 446万人
- 主要観光地
 - 道の駅丹波おばあちゃんの里 (丹波市) 34万人
 - 丹波の森公苑(丹波市) 26万人
 - 丹波年輪の里(丹波市) 17万人
 - ぬくもりの郷(篠山市) 16万人
 - 黒豆の館(篠山市) 9万人

(2) 現状と課題(人口・面積)

- ◆ 県土の1割の面積に県人口の2%が居住
- ◆ 地域内では、丹波市が面積、人口ともに約6割を占める
- ◆ 地域内人口は、2040年(平成52年)には平成2年の7割弱に減少
- ◆ 就職や大学進学を契機に若者が地域外に流出



著しい人口減少に備えた
定住人口・交流人口対策



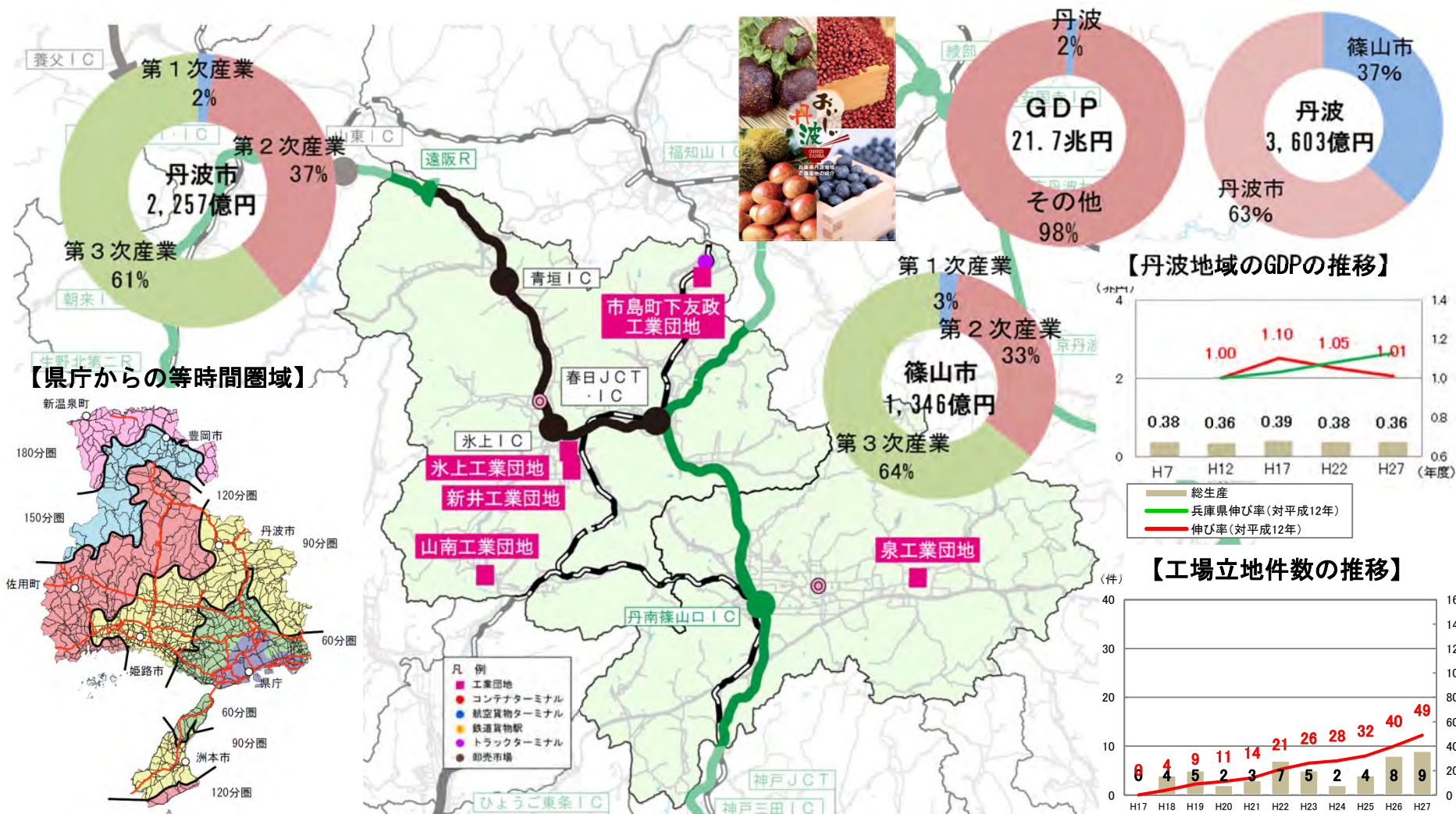
出典: <人口>総務省統計局「国勢調査」(平成27年)
<面積>国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成28年)

(2) 現状と課題(経済・産業)

- ◆ GDPは全県の約2%で、**横ばいで推移**
- ◆ 第2次産業の占める割合が約3割から4割と相対的に高い
- ◆ 丹波栗等の特産品は丹波ブランドとして、全国的に高い評価



丹波栗など「丹波ブランド」を活かした産業活性化



出典: <GDP>兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」(平成27年度 実質:平成17暦年基準 試算値)
 ※ただし、市町別産業別内訳は、平成27年度名目別平成17年度基準値

(2) 現状と課題(観光)

- ◆ 「道の駅 丹波おばあちゃんの里」「丹波の森公園」など自然を活かした観光地への観光客は、年間400万人強で全県の3%。近年は横ばいで推移
- ◆ 北近畿自動車道の開通以降、観光入込客数は伸び悩み



日本遺産「デカンショ節」など地域の伝統文化や自然を活かした観光振興による交流人口対策



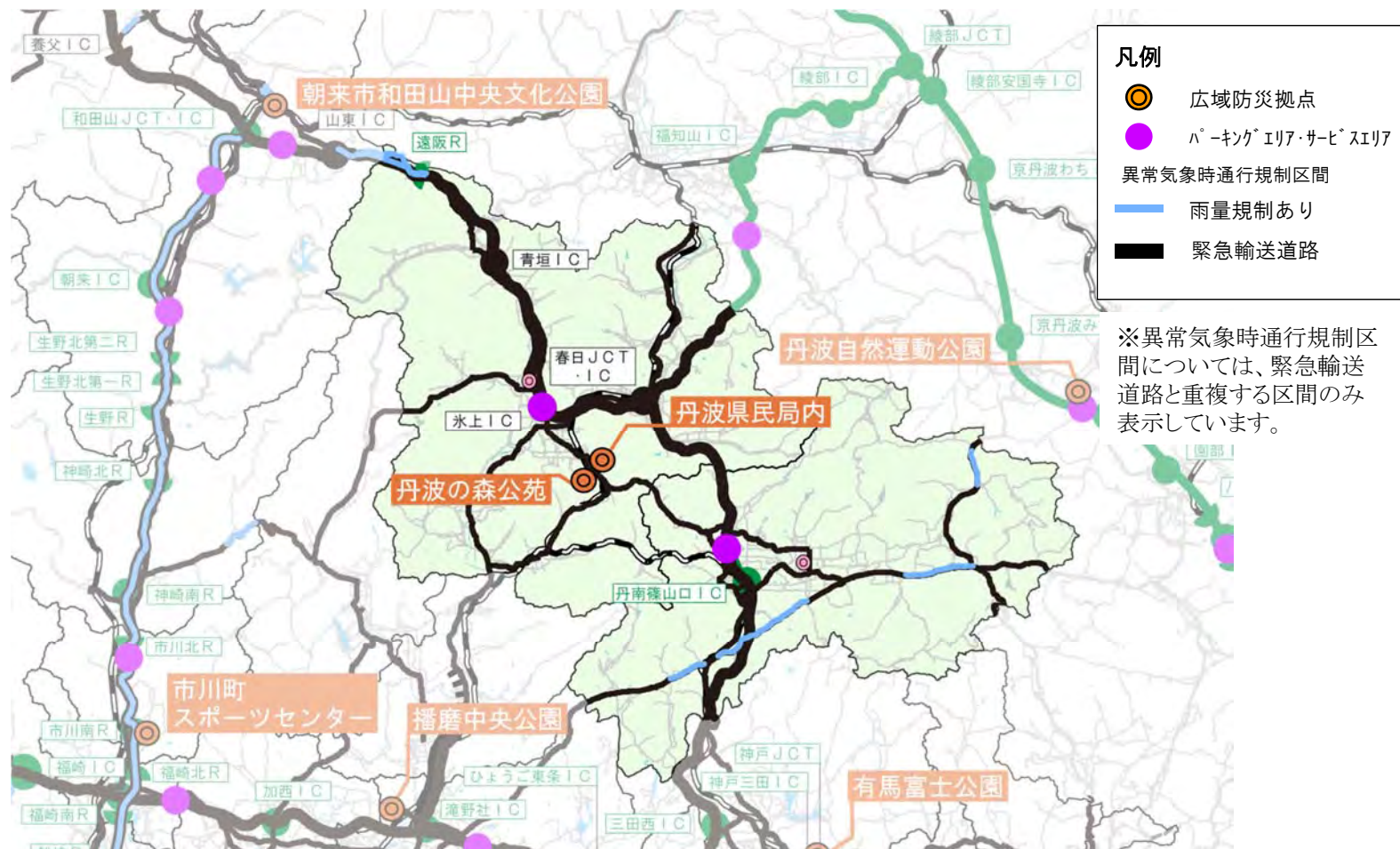
(2) 現状と課題(災害)

- ◆ 地域内の広域防災拠点は2箇所
- ◆ 神戸や播磨など瀬戸内海沿岸部とのリダンダンシーが確保できていない



交通の要所である丹波地域と瀬戸内海沿岸部の基幹道路のリダンダンシーの確保

<緊急輸送道路ネットワーク>



出典: <異常気象時通行規制区間>兵庫県道路企画課
「H27全国道路・街路交通情勢調査」より、雨量・雪・その他規制区間および冬期通行不可区間を表示

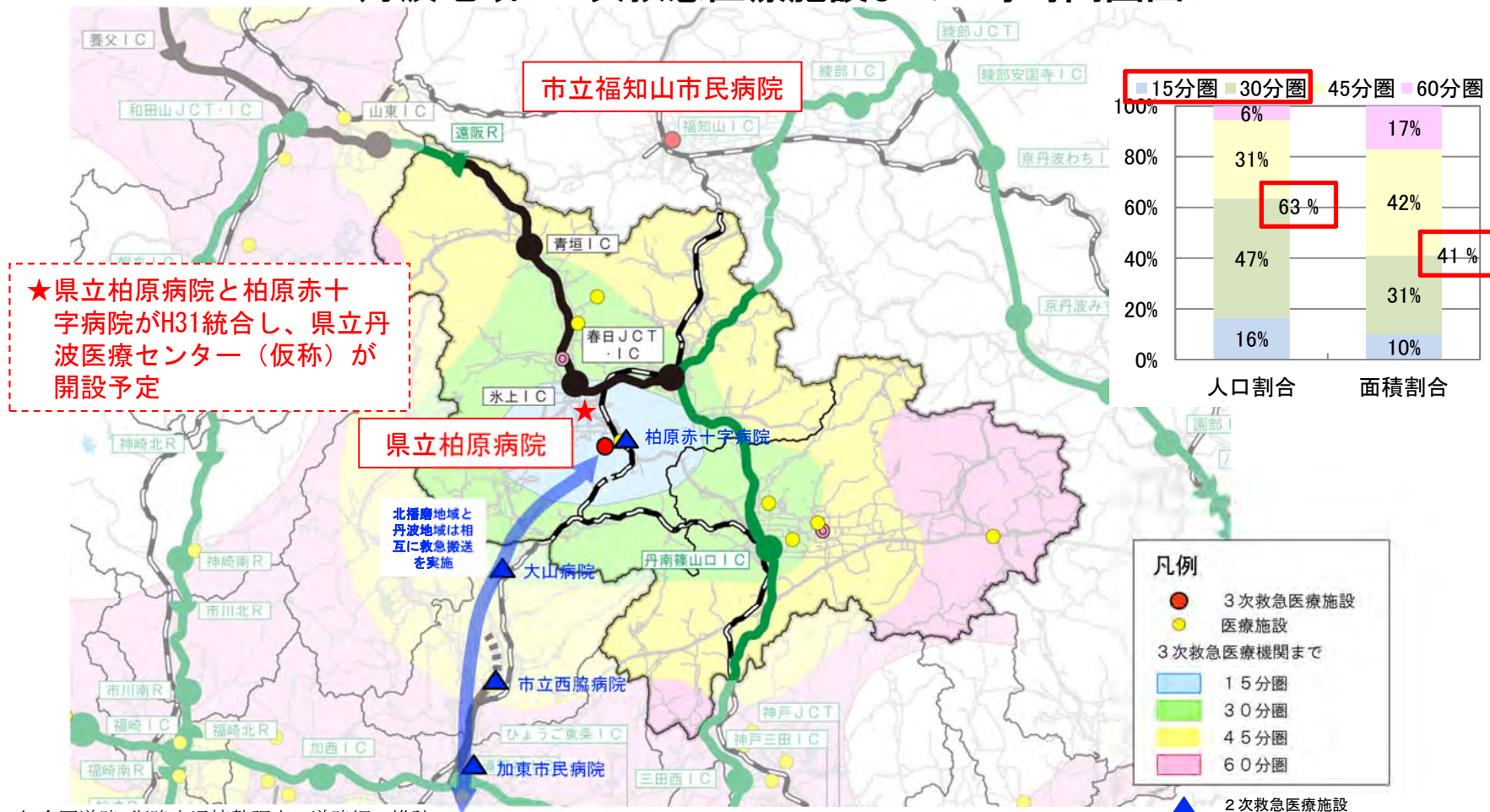
(2) 現状と課題(医療)

- ◆ 地域内には3次救急医療機関が1箇所、隣接する福知山市には3次救急医療機関が1箇所が立地
- ◆ 175号沿線では、北播磨地域と相互に救急搬送を実施
- ◆ 到達に30分以上かかるエリアが南東部の篠山市街地で多く残る



相互に救急搬送を実施している北播磨地域や、南東部など3次救急医療機関まで時間がかかる地域の速達性の強化

＜丹波地域の3次救急医療施設までの等時間圏図＞



※平成27年全国道路・街路交通情勢調査の道路網で推計
距離:実測距離 速度:混雑時平均旅行速度の上り下りで低い速度

(3) 道路をとりまく状況(整備状況)

- ◆ 丹波地域の基幹道路は10年前に概ね現在の姿になっている。

H7 (約20年前)

- ・ 山陽道姫路以西、舞鶴若狭自動車道等の東西、南北ネットワークの整備が伸展



10年

H17 (約10年前)

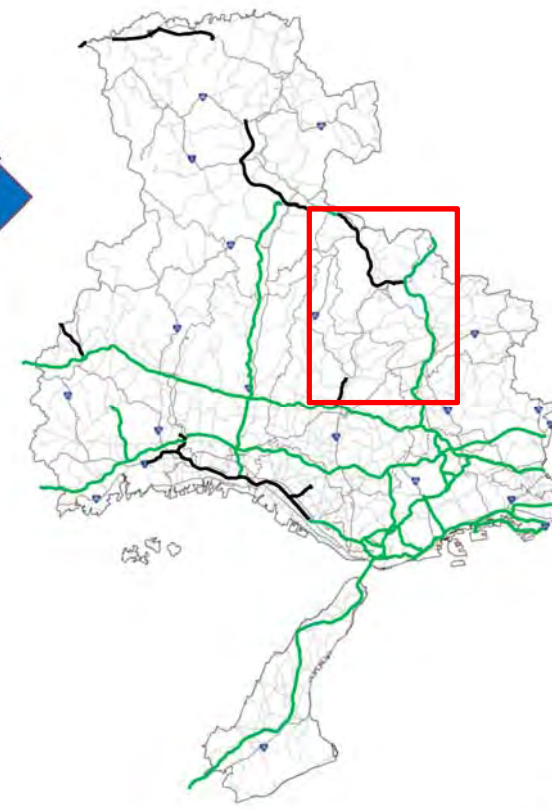
- ・ 山陽道、本州四国連絡道路 阪神高速北神戸線、播但連絡道路全線供用



10年

H29 (現在)

- ・ 北近畿豊岡道、山陰近畿自動車道等の県北部のネットワーク整備が伸展

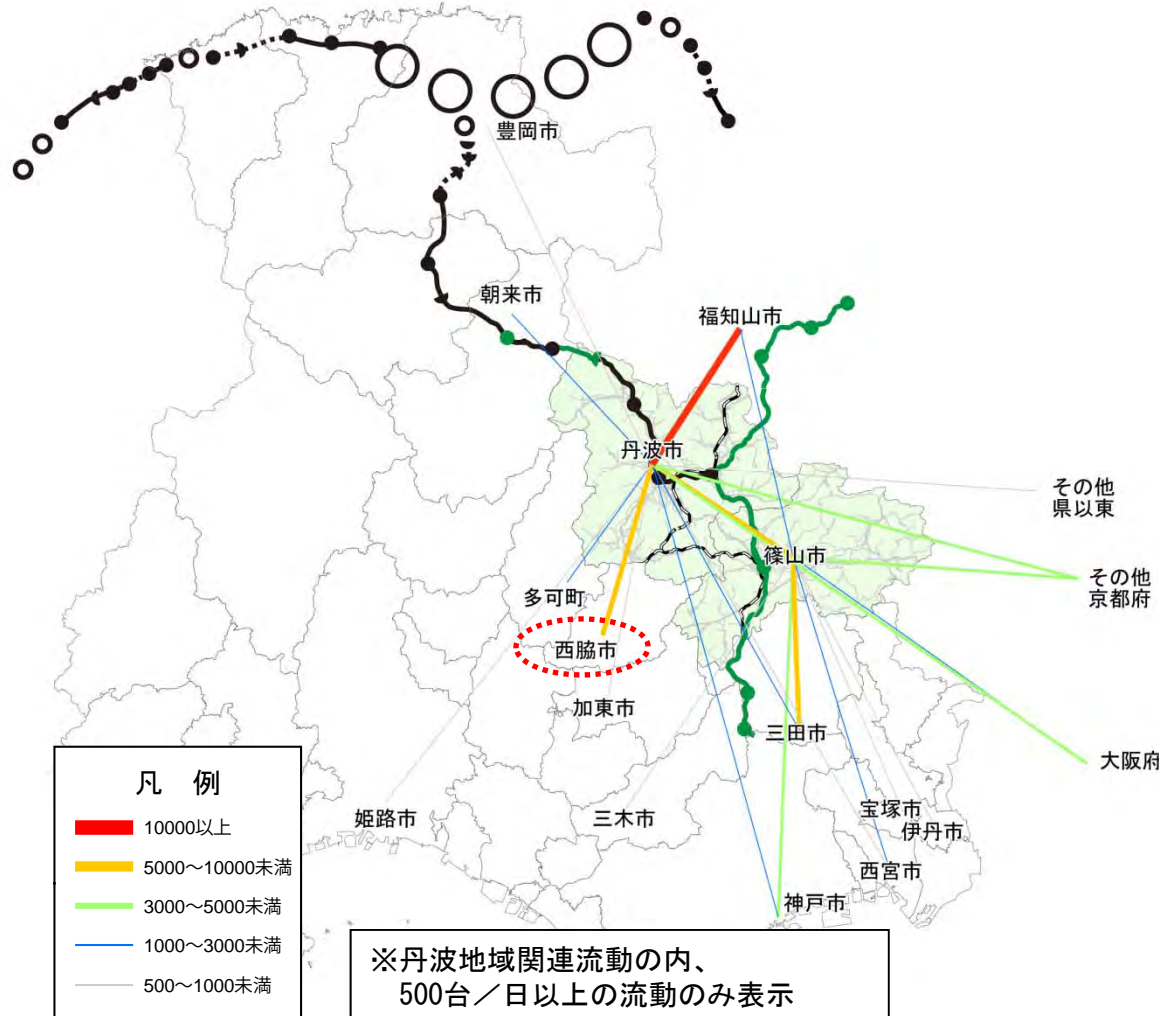


(3) 道路をとりまく状況(OD流動)

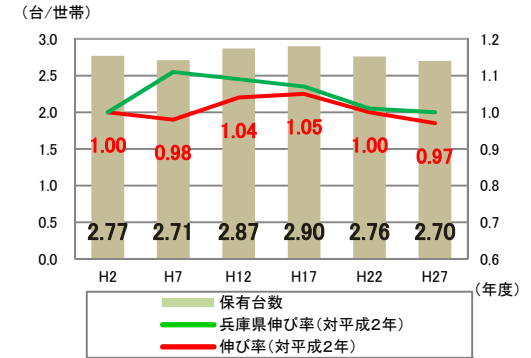
- ◆ 地域内の丹波市と篠山市に流動がある
- ◆ 丹波市では福知山市、西脇市、篠山市では三田市と大きな流動がある
- ◆ 自動車保有台数が高く、交通における自動車への依存が高い。



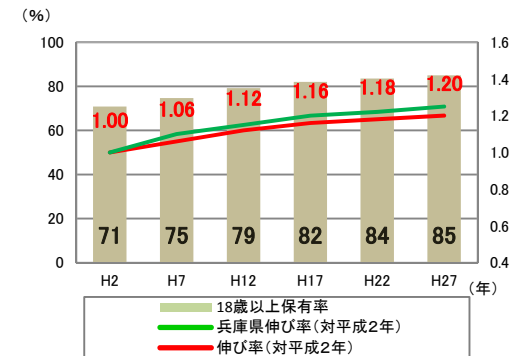
交通流動はあるが、基幹道路がネットワークされていない区間への対応



【丹波地域の自動車保有台数の推移】



【丹波地域の免許保有率の推移】



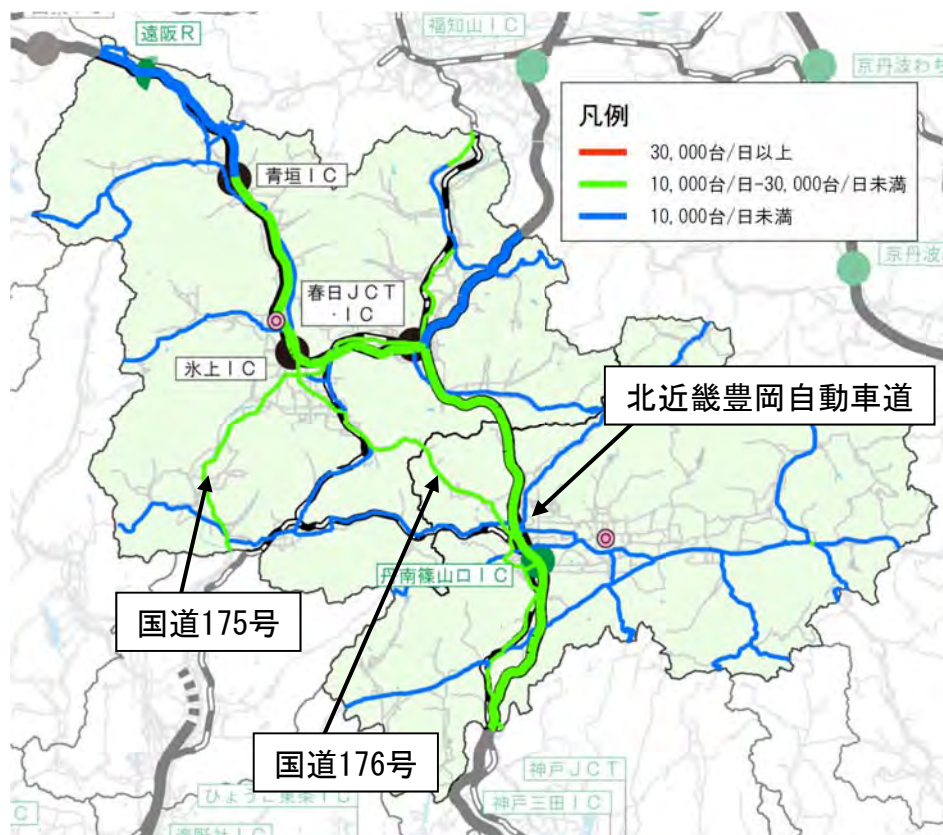
(3) 道路をとりまく状況(交通量と大型車混入率)

- ◆ 北近畿豊岡自動車道、国道175号、176号で1万台/日を超える交通があり、南北幹線道路の日交通量が多い。
- ◆ 北近畿豊岡自動車道で2割～3割、一般道路である国道173号、372号の一部で3割を超える大型車が利用

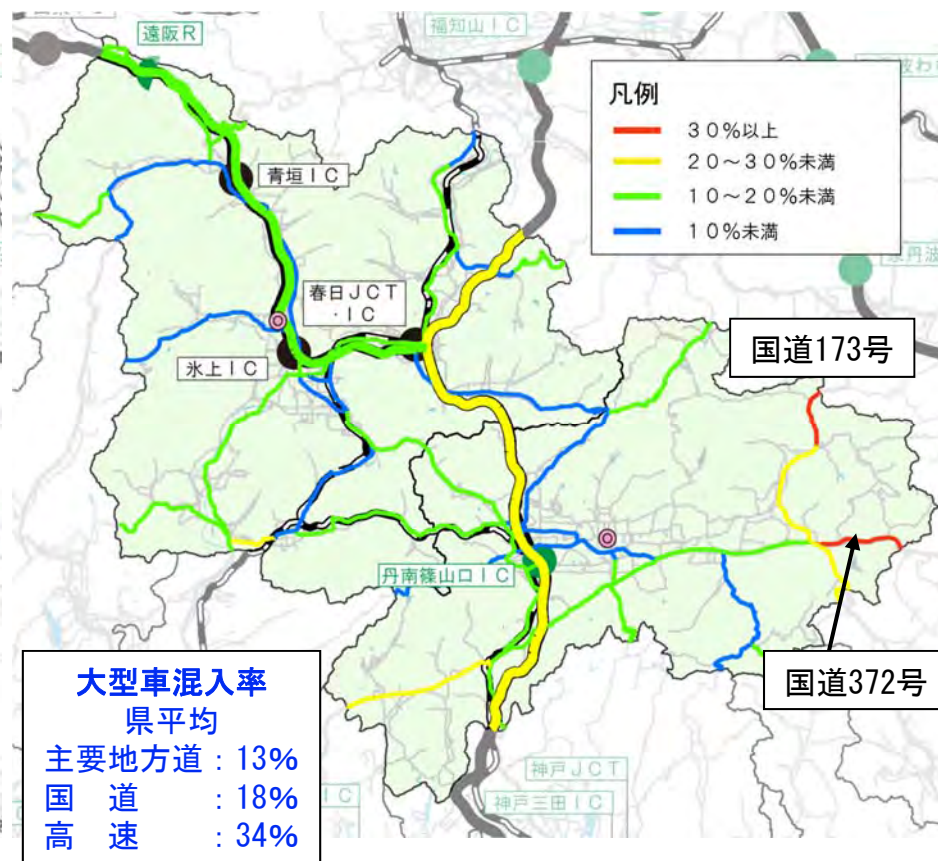


一般道路で大型車混入率が高い区間への対応

<24時間交通量>



<大型車混入率>

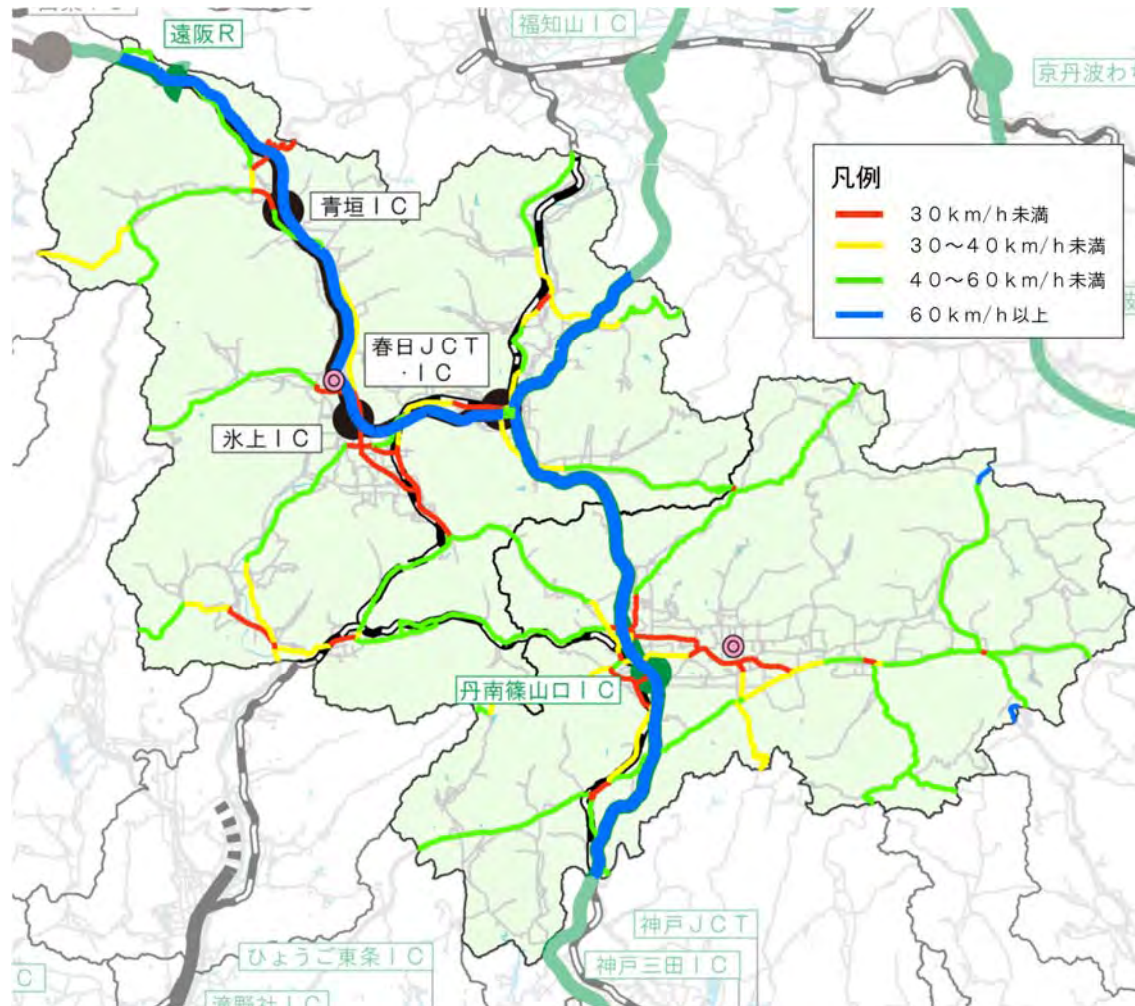


(3) 道路をとりまく状況(ピーク時旅行速度)

- ◆ 基幹道路では60km/h以上の速度が確保されているが、一般道路では市街地を中心に速度が30km/h未満の区間が存在



旅行速度の低い区間への対応

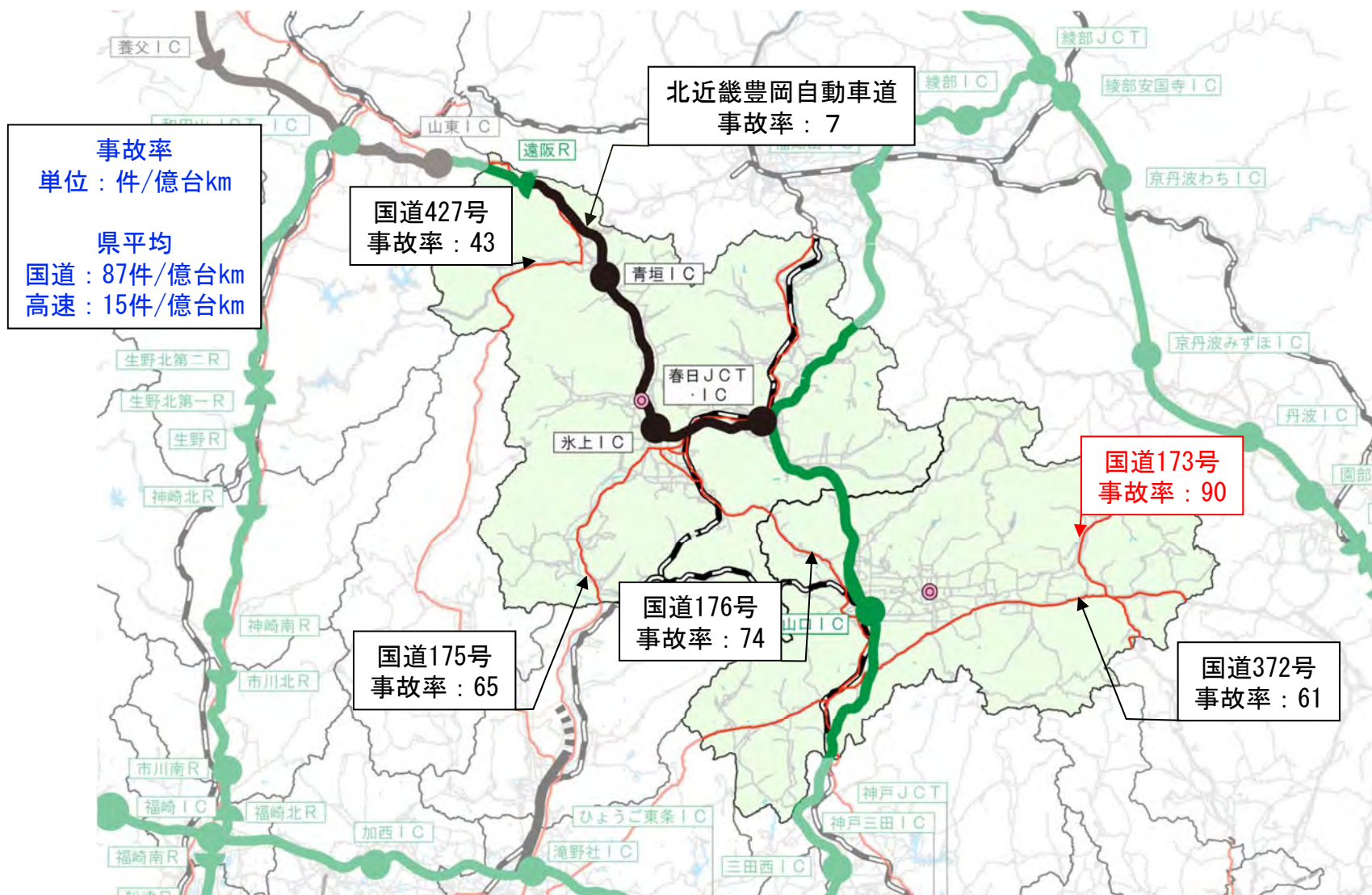


(3) 道路をとりまく状況(事故率)

- ◆ 一般道に比べて基幹道路の事故率は低い。
- ◆ 暫定2車線区間では、重大事故の確率が高く、対向車線への飛び出しや逆走等の安全に課題



北近畿豊岡自動車道の暫定2車線区間への対応



(4) 丹波地域の課題まとめ

項目		課題
地域の課題	人口減少対策	著しい人口減少に備えた 定住人口・交流人口対策
	産業活性化	丹波栗など「丹波ブランド」を活かした産業活性化
	観光振興	日本遺産「デカンショ節」など地域の伝統文化や自然を活かした 観光振興による交流人口対策
	災害への備え	交通の要所である丹波地域と瀬戸内海沿岸部のダブルネットワークの確保
	地域医療の充実	相互に救急搬送を実施している北播磨地域や3次救急医療機関まで時間のかかる南東部地域への速達性の強化
道路の課題	交通需要・渋滞	交通流動はあるが、基幹道路がネットワークされていない区間への対応 旅行速度の低い区間への対応
	安全性	一般道路で大型車混入率が高い区間への対応 北近畿豊岡自動車道の暫定2車線区間への対応

(5) 丹波地域の将来計画

項目	地域の将来像
人口減少対策	○地元での雇用・就業とUJIターンの促進（県地域創生戦略丹波版）
産業活性化	○丹波ブランドの育成と活用による産業振興（県地域創生戦略丹波版） ○やりがいを実感できる“元気なたんば”－地域の資源を活かした「しごと」の創出（丹波地域ビジョン）
観光振興	○丹波ファン拡大による交流の促進（県地域創生戦略丹波版） ○都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”－都市との多彩な交流の推進（丹波地域ビジョン）
災害への備え	○丹波地域の安全安心の向上（県地域創生戦略丹波版）
地域医療の充実	○保険・医療や福祉、防犯などの暮らしの安全安心のための取組の推進（県地域創生戦略丹波版）

(6) 丹波地域の政策目標(案)

地域の課題	道路の課題	将来像	意見聴取
-------	-------	-----	------

項目	政策目標 (案)	基幹道路の 目指すべき姿 (案)
人口減少 対策	○UJIターンなどを促進するため、神戸や播磨、但馬、福知山など周辺地域との移動時間の短縮と走行性の向上	⇒丹波地域と瀬戸内海沿岸部の基幹道路によるダブルネットワークの確保 ⇒北近畿豊岡自動車道の4車線化による安全性の向上
産業活性化	○丹波ブランドなどの特産品の販路拡大や付加価値の向上のため、神戸や播磨など大都市市場への物流機能の強化	
観光振興	○“交流のたんば”実現のため、神戸や播磨など都市部との移動時間の短縮	
災害への 備え	○交通の要所である丹波地域と瀬戸内海沿岸部のダブルネットワークの確保	
地域医療 の充実	○3次的救急医療施設「県立柏原病院」や新設される「丹波医療センター(仮称)」への速達性の確保	
その他	○暫定2車線区間の安全確保	

(7) 丹波地域の基幹道路の目指すべき姿(案)

- 丹波地域と瀬戸内海沿岸部の基幹道路によるダブルネットワークの確保
- 北近畿豊岡自動車道の4車線化による安全性の向上

